

2016 年 11 月 16 日 一志会特別例会(「仙川キューポート」視察・研修会)を実施しました。

一志会では、定例の例会とは別に、会員有志が幹事となって、毎年、特別例会を企画・開催していますが、今回は、和田氏(キューピー)及び椎名氏(KPMG コンサルティング)が幹事となり、東京都調布市にあるキューピーの複合施設「仙川キューポート」を視察しました。



キューピーは、創業者が 1925 年に日本で初めてマヨネーズを製造販売して以来、マヨネーズ及びドレッシングのトップメーカーとして知られていますが、今回訪問した「仙川キューポート」は 2013 年に研究開発・品質保証機能とグループのオフィス機能を合わせ持つ複合施設として建設されたものです。

この施設は、研究開発機能や品質保証機能を融合して、“安全・安心のものづくり”を一層向上させるとともに、商品開発のスピード・アップを図ることと、あわせて首都圏に点在するグループ事業所のオフィス機能を集約し、業務の効率化を図りながらグループ各社の連携が生み出すシナジー効果で市場展開力を高めていくことを目指しています。

和田氏は、この施設の建設の企画段階から中心的な役割を担ったことから、建設の基本的な考え方、随所に組み込まれた工夫などの説明から、研究開発・品質保証機能の連携が良くなったことから新商品開発の幅が広がるとともに、開発スピードが高まったことなど、開設してからの効果などについて、率直に話していただきました。

六角形の独特な X 型アウトフレーム構造で、人の動線を考えた回遊型の建物とし、各階にコミュニケーションエリアを設けるなどの工夫がされており、社員同士のコミュニケーションが活発になっている様子が伝わってきました。

質疑では、参加者から、「基礎研究と商品開発とをうまく結び付けている仕組みと運営のポイント」や「オフィスレイアウトのユニークな考え方」など、全員が相次いで質問するほどで、和田氏がひとつひとつ丁寧に説明されましたので、非常に充実した視察見学となりました。

この後、併設している一般向けの見学施設「マヨネーズ」で、マヨネーズの歴史や製造工程などを見学してから、場所を変えて、懇親会となりました。

懇親会では、視察見学の感想や近況報告などから始まり、話題が次々と広がって、にぎやかな場となり、予定時間を大幅に超過してしまうほどの盛り上がりとなりました。

